

平成 2 8 年度ごみ排出量および目標達成状況について

1 一般廃棄物処理基本計画

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 4 5 年法律第 1 3 7 号）第 6 条の規定に基づき、平成 2 7 年 3 月に、本審議会でのご意見も踏まえ、本市区域内の一般廃棄物の処理に関する計画を新たに策定したところである。

本計画では、ごみ減量やリサイクル率について目標を掲げるとともに、その目標を達成するための個別施策についても併せて掲載し、毎年度、事業評価シートによる現状分析および評価を行いながら、事業の進捗状況を点検することとしている。

2 本計画で掲げる各種目標に対する実績と評価

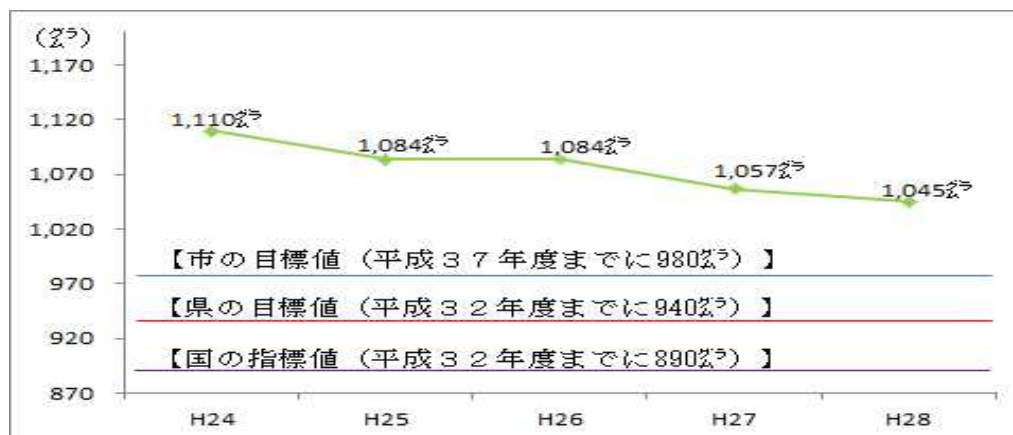
(1) 一人 1 日当たりのごみ排出量（公共系、民間施設搬入分を除く。）

【目 標】

一人 1 日当たりのごみ排出量（公共系、民間施設搬入分を除く。）
平成 3 7 年度までに、平成 2 5 年度比で約 1 0 % 削減する。
(1, 0 8 4 グラム ⇒ 約 9 8 0 グラム)

【実 績】

	家庭ごみ	粗大ごみ	資源化物	実績値
平成 2 4 年度	1 0 7, 1 2 4 トン	3, 3 4 9 トン	1 9, 4 3 9 トン	1, 1 1 0 ^{グラム}
平成 2 5 年度	1 0 3, 4 8 3 トン	3, 5 3 4 トン	1 9, 4 3 0 トン	1, 0 8 4 ^{グラム}
平成 2 6 年度	1 0 3, 7 3 5 トン	3, 5 5 4 トン	1 8, 3 4 3 トン	1, 0 8 4 ^{グラム}
平成 2 7 年度	1 0 1, 9 6 1 トン	3, 5 2 5 トン	1 7, 3 6 5 トン	1, 0 5 7 ^{グラム}
平成 2 8 年度	1 0 0, 6 5 1 トン	3, 2 3 0 トン	1 6, 4 6 6 トン	1, 0 4 5 ^{グラム}



【評 価】

平成28年度の実績値は1,045グラムで、25年度比で約3.6%の減となっており、目標の達成に向けて減量が進んでいる状況にある。

目標の達成に向け、引き続き、資源化物も含めたごみの減量および再使用の周知・啓発を実施していく必要がある。

(2) 一人1日当たりの家庭系ごみ排出量（資源化物を除く。）

【目 標】

一人1日当たりの家庭系ごみ排出量（資源化物を除く。）
平成37年度までに、平成25年度比で約10%削減する。
(527グラム → 約480グラム)

【実 績】

	家庭ごみ	粗大ごみ	実績値
平成24年度	65,671 ^{トン}	594 ^{トン}	566 ^{グラム}
平成25年度	60,867 ^{トン}	591 ^{トン}	527 ^{グラム}
平成26年度	60,827 ^{トン}	558 ^{トン}	529 ^{グラム}
平成27年度	59,624 ^{トン}	519 ^{トン}	517 ^{グラム}
平成28年度	58,460 ^{トン}	481 ^{トン}	512 ^{グラム}



【評 価】

平成28年度実績は512グラムで、25年度比で約2.8%の減となっており、目標の達成に向けて順調に減量・リサイクルが進んでいる状況にある。

目標の達成に向けて、引き続き3Rの周知・啓発を実施していく必要がある。

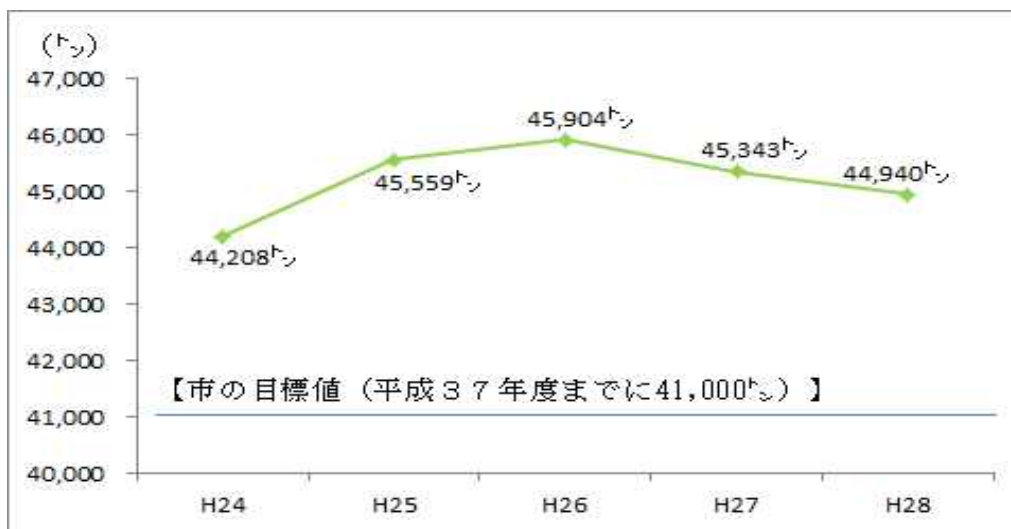
(3) 事業系ごみ排出量（資源化物を除く。）

【目 標】

事業系ごみ排出量（資源化物を除く。）
 平成37年度までに、平成25年度比で約10%削減する。
 （45,559トン ⇒ 約41,000トン）

【実 績】

	事業ごみ	粗大ごみ	実績値
平成24年度	41,453 ^ト	2,755 ^ト	44,208 ^ト
平成25年度	42,616 ^ト	2,943 ^ト	45,559 ^ト
平成26年度	42,908 ^ト	2,996 ^ト	45,904 ^ト
平成27年度	42,337 ^ト	3,006 ^ト	45,343 ^ト
平成28年度	42,191 ^ト	2,749 ^ト	44,940 ^ト



【評 価】

平成28年度は44,940トンで、25年度比で1.4%の減となっているが、この推移の状況では目標達成は難しい状況にある。

これまでの事業者への訪問指導だけではなく、事業形態に応じたごみの減量方法を提示するなど、引き続き、より効果的な施策を検討していく必要がある。

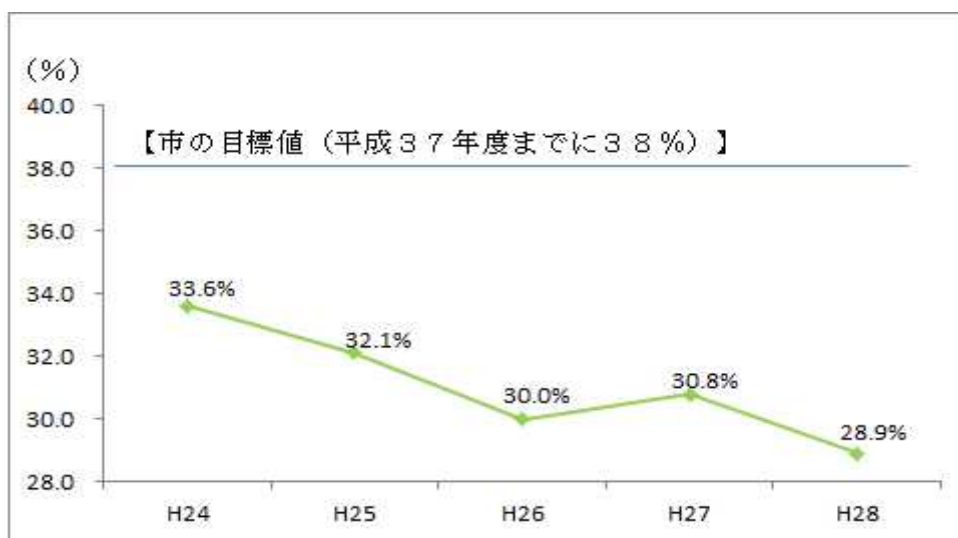
(4) リサイクル率（民間施設搬入分を含む。）

【目 標】

リサイクル率（民間施設搬入分を含む。）
平成37年度までに、約38%を達成する。
（32.1% ⇒ 約38%）

【実 績】

平成24年度	33.6%
平成25年度	32.1%
平成26年度	30.0%
平成27年度	30.8%
平成28年度	28.9%



【評 価】

平成28年度は28.9%で、25年度比で3.2%の減となっており、目標の達成は難しい状況にある。

ペーパーレス化などによる古紙類の排出量が減っているといった要因もあるが、引き続き、家庭ごみに含まれる資源化物の適正分別について啓発・指導を行っていく必要がある。